

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都市洛西口・桂駅間高架下公共施設 地域交流スペース	階数	地上1F
建設地	京都市西京区川島五反長町17番2 ほか	構造	S造
用途地域	準工業地域、第一種低層住居専用地域、法第22条区域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年2月20日
敷地面積	613.84 m ²	作成者	㈱内藤建築事務所
建築面積	323.30 m ²	確認日	
延床面積	319.70 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 88%

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	計画敷地に対し、建物周辺にデッキ広場等の開放ゾーン(空地)を設けることで、住宅側の居住環境に配慮を行っています。	その他
Q1 室内環境	内装材は全てF☆☆☆☆の建材とし、また、建物全体は禁煙とする計画としています。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	複層ガラスや断熱性の高い外壁、軒出を1.0mとするなど、熱負荷の軽減に配慮しています。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	建物内部仕上げは、清掃性の良い建材を採用するなど、維持管理のが行いやすい計画としています。	
LR2 資源・マテリアル	エコマーク建材や節水型衛生器具を採用するなど環境に配慮した計画としています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される